

桃	花の痕とんがつている白桃よ/誤用	1995. 7. 21	桃	桃の香の残る机に稿を継ぐ	2018. 9. 10
	花の痕とんがつてゐる白桃よ	2024. 9. 4		桃の香の残る書齋に稿を継ぐ	
	花の痕つんとしてゐる桃の実よ			桃の香や死者の旅路の安かれと	2018. 9. 10
	白桃のつんとしてゐる花の痕	2024. 9. 6		白桃や死者の旅路の安かれと	
	白桃のつんとしてゐる花の跡			白桃や黄泉路の旅の安かれと	2024. 9. 4
	白桃のつんつんとして花の跡	2024. 9. 8		白桃の欠伸の如く大きかり	2018. 9. 11
	白桃のつんと尖りし花の跡			白桃は欠伸の如く大きかり	
	桃太郎のつんと尖りし桃の紋	2024. 9. 9		桃の実は欠伸の如く大きかり	2024. 9. 4
	桃太郎のつんと尖りし桃印			あくびより大きな桃の置かれある	
	もものみのうすももいろにふくらんで	1998. 7. 21		あくびほど大きな桃の置かれある	2024. 9. 5
	もものみのうすももいろにおもたけれ	2024. 9. 8		あくびほどの大きな桃の置かれある	
	もものみのうすももいろの香なりけり	2024. 9. 9		あくびして大きな桃の生れけり	2024. 9. 8
	桃の実のうすももいろの香なりけり	2024. 9. 10		あくびして大きな桃の産れけり	
	桃の実のうす桃いろの香なりけり			あくびして大きな桃を産みにけり	2024. 9. 10
	薄皮を剥いて桃の実桃の皮	2014. 7. 26		あくびして大きな桃を吐き出せり	
	桃の実にひたと吸ひ付く桃の皮	2016. 4. 17		あくびして大きな桃を吐くごとし	
	桃の皮一枚にして桃包む			大あくび大きな桃を吐くごとし	
	ひたひたと桃を包んで桃の皮			大あくび大きな桃を吐くやうに	
	桃の実をひたと包んで桃の皮	2018. 4. 15		白桃の一生の傷悲しけれ	2018. 9. 11
	薄皮を引けば桃の実桃の皮	2024. 7. 21		白桃に一生の傷ありにけり	
	薄皮を剥けば桃の実桃の皮			桃の実に一生の傷ありにけり	2024. 9. 4
	白桃をひたと包んで桃の皮	2024. 9. 6		白桃の打身のごとき罪を負ふ	2024. 9. 8
	白桃をひたと包みし皮を引く	2024. 9. 8		白桃の哀れ打身のごときもの	
	白桃をひたと包みし桃の皮			白桃の哀れ打身のひとところ	
	桃の皮くまなく桃を包みけり			白桃の哀れ打身をまぬがれず	2024. 9. 9
	桃の皮すつぱり桃を包みけり			白桃や哀れ打身をまぬがれず	
	白桃をひたと包みし皮を剥ぐ			白桃や哀れ打身をまぬがれず	
	白桃をひたと包みし皮をむく			白桃や哀れ打身をまぬがれず	
	白桃をひたと包みし皮をはぐ			白桃や哀れ打身をまぬがれず	
	白桃をひたと包んで皮膜かな	2024. 9. 10		桃の非にあらねど桃の打身かな	2024. 9. 10
	白桃をひたと包んで皮膜あり			うす茶なる白桃の非の打ちどころ	
	白桃をひたと包みし皮膜かな			土色は白桃の非の打ちどころ	
	白桃をひたと包みし皮に刃を			色濃きは白桃の非の打ちどころ	
	白桃をひたと包みし皮の色	2024. 9. 11			
	白桃をひたと包みし白き皮				
	白桃のいくらでもある桃畑	2014. 8. 23			
	桃の実のいくらでもある桃畑	2024. 9. 3			
	白桃や梨や柿とはまた別の	2020. 10. 7			
	白桃や梨や柿とは別格の	2024. 9. 11			
	仏壇に白桃匂ふ夜も匂ふ	2018. 9. 9			

桃	積み上げて白桃の山作りたし	2019. 5. 29	桃	供へたる桃を生者が分つなり	2024. 7. 21	
	積み上げて白桃の山作るかな			<b>お供への桃を生者が分つなり</b>		
	積み上げて白桃は山なせりけり			<b>枇杷の種真つ黒桃の種真つ赤</b>		2024. 9. 4
	積み上げて白桃の山つぶれつつ			枇杷の種真黒桃の種真赤		
	積み上げて自滅してゆく白桃の山			白桃を皮引きにして丸裸		2024. 9. 8
	積み上げて白桃の山自滅せり			白桃の皮をむきたる丸裸		
	積み上げて積み上げて白桃の山			白桃の皮を剥きたる丸裸		
	積み上げて夢の高さの桃の山			桃を剥く肉と皮との間かな		2024. 9. 9
	積み上げて山となりたる桃の夢			<b>白桃は皮をむかれて丸裸</b>		
	白桃を夢の高さに積み上げて			桃を剥く果肉と皮の間かな		2024. 9. 10
	積み上げて三途の川の桃の山			離れゆく桃の果肉と桃の皮		
	あてもなく三途の川に桃を積む			桃を剥く皮と果肉の間かな		2024. 9. 11
	涙して三途の川に桃を積む			白桃の皮と果肉の間かな		
	涙して三途の川に桃を積む			桃むけば皮と果肉の間かな		
泣きながら三途の川に桃を積む	<b>むく桃の皮と果肉の間かな</b>					
<b>泣きながら賽の河原に桃を積む</b>	2024. 9. 9	満月に桃の宴と思ふなり	2024. 9. 8			
白桃や赤子のほつべ落ちさうに	2019. 8. 24	桃	月今宵桃の宴と思ふなり	2024. 9. 9		
白桃に赤子のほつべ落ちさうな			月こよひ桃の宴と思ふなり			
桃くへば赤子のほつべ落ちさうな			白桃や重たき月をあげにけり			
桃くうて赤子のほつべ落ちさうな			白桃や重たき月を東に			
桃すする赤子のほつべ落ちさうな			白桃や重たき月をひんがしに			
<b>桃すする幼なのほつべ落ちさうな</b>			2019. 8. 26		白桃や重たき月を東山	
桃すする子の頬つぺたの落ちさうな			2024. 7. 21		白桃や重たき月が東山	
桃すする幼なのほつべもちもちと			2024. 9. 11		白桃や重たき月の東山	
桃すする幼なのほつべもちもちの			白桃と重たき月の東山			
桃すする桃より柔らかなほつべ			白桃や濡れて重たき月のごと			
桃よりも子の頬つぺたの柔かし			白桃に濡れて重たき月上る			
<b>桃すする桃より柔らかな頬つべ</b>			白桃や濡れて重たき月を上げ			
宵の口月に供へし桃を食ふ			2020. 9. 8		白桃は濡れて重たき月のごと	2024. 9. 10
さつきまで月に供へし桃を食ふ			2024. 9. 8		白桃は濡れて重たき月のやう	
<b>さつきまで月に供へてありし桃</b>		白桃は濡れて重たき月みたい				
桃色は桃の色なり甘さうな	2022. 9. 27	白桃は濡れて重たい月みたい				
桃色は桃の実の色甘さうな		白桃は月より重く盆の上				
桃色は桃の実の色あまさうな		白桃の月より重く盆の上				
桃色は桃の実のいろ甘さうな	2022. 9. 28	白桃は月の如くに盆の上				
<b>桃色は桃の色甘さうな色</b>	2024. 9. 11	満月が桃の宴に上るなり	2024. 9. 11			
わが好きなヘビーシロップパイン缶	2023. 6. 16	桃	満月が桃の宴を照らしけり			
わが好きなヘビーシロップ桃缶の			<b>満月が桃の宴の上にな</b>			
<b>わが好きのヘビーシロップ桃缶の</b>			<b>白桃や月の如くに盆の上</b>			